

横浜市立南小学校 令和3年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
自ら課題をもち あたためた心で かかわっていく 南小の子	心と体を鍛え、自分や人の生命と体を大切にする力

(2) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>○子ども一人ひとりのニーズに対応できる、「だれもが」「安心して」「豊かに」過ごせる学校づくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが自分自身の成長を実感できる授業づくり、考えを表現することを大切にする授業づくりを通して学力の向上を図ります。 ・あいさつを大切に、温かい人間関係を築き、自他を大切にする心を育てます。 ・自分の生活をみつめ、心身の健康づくりを進んで行おうとする態度を育てます。 ・保護者、地域、関係機関に向かって学校を開き、「まち」や「人」との豊かなかかわりを大切にしていきます。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

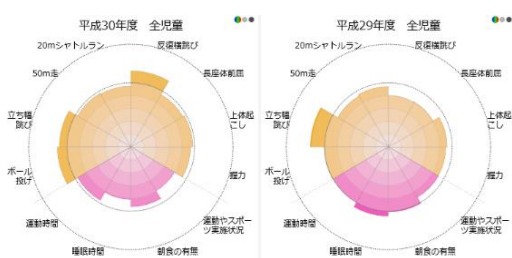
重点取組分野	具体的取組
健やかな体	<p>①運動委員会による長縄集会や朝のさわやかタイムの時間で、楽しく体を動かす活動に取り組み、体力の向上を図る。</p> <p>②保健学習において、養護教諭と連携し、自己の健康や生命の大切さに気付くよう指導する。</p>
担当	体育部・養護

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・体力テストの結果が向上してきている。全体的に市の平均前後になっているが、特に投げる力が高まってきている。
- ・学区に大きな公園が少なく、体を動かせる場所が限られている。それでも、放課後学校に来て遊んだり、休み時間に外に出て遊んだりする姿もあり、運動に対しては前向きな子が多い。
- ・地域のスポーツクラブとしては、水泳、バレーボール、野球、サッカーなどがあり、所属している子も多い。反面、運動離れの子もいて、運動の二極化が見られる。
- ・毎日朝食を食べている子どもがほとんどであるが、生活のリズムがやや乱れている児童もいて、睡眠時間が市の平均と比べると、やや少ない。規則正しい生活を身に付け、ゆとりある学校生活を目指したい。

(2) 体力の概要と要因の分析



新体力テストの結果を見ると、多くの項目が市平均と同等か平均以下になっている。校庭が小さいため、中休みの遊びが制限されていることが要因として考えられる。反復横跳びの結果が年々よくなっている。長縄や短縄跳びを取り入れた運動集会やさわやかタイムを継続してきたことで跳力や俊敏さが高まったと考えられる。一方で、長座体前屈については、下回る学年が多い。また、体育学習における準備運動や整理運動の中で、丁寧にストレッチ運動を取り入れることで柔軟性も高めていきたい。

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・体育科・保健体育科では、個に応じた指導や支援、学び合えるような場面を設定することで自己肯定感を育て、かわり合いの中でコミュニケーション能力を高めていく。
- ・保健では、自己の体を見つめ、健康や生命の大切さに気付くような授業展開を工夫する。
- ・重点領域(器械・器具を使つての運動・器械運動)を中心に、運動量の多い授業を展開し、体力の向上を図る。

《他教科での取組》

- ・家庭科や特別活動では食育との関連を図る。
- ・生活科・理科では、生命の尊さも指導する。

特活・総合

- ・健康委員会では、流し場の点検や、むし歯予防の取り組み等を行う。
- ・児童保健委員会を中心として学校保健委員会の取り組みを行う。
- ・さわやかタイムの充実化
- ・養護教諭、栄養職員による保健指導や給食指導などによる自分の生活の状況を見つめ、学んだことを実践できる力をはぐくむ特別活動の授業づくりを行う。
- ・健康や運動に対する関心を深め、運動の楽しさを味わいながら進める運動会づくりを行う。

課外活動

- ・個人面談等を利用して体力テストの結果や保健情報等を家庭と共有し、家庭や地域との連携を図る。

令和3年度 南小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 体育集会の充実

《ねらい》 運動機会の確保、教員の指導力向上

《内容》 体育的集会を運動委員会と児童が企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。

さわやかタイム（朝の時間の運動集会） 長縄集会 等

●指 標：

- ①さわやかタイムについては、スポーツに親しむ習慣や意欲を養い、学年に応じて体力の向上を図る運動に取り組む。
- ②長縄集会については、運動委員会で内容を話し合い、それぞれの学年や学級の成果に応じた表彰をしていく。